

令和元年度 第1回学校評議員会 会議録

- 1 日時 令和元年7月9日(火) 14:30~15:40
- 2 場所 本校大会議室
- 3 参加者 学校評議員 3名(2名欠席)
校長、事務長、全日制(副校長・総務課長・教務課長・生徒課長、進路課長)
定時制(副校長・教務課長・生徒課長代理)、通信制(副校長・教務課長・生徒課長)
計16名

4 議事(進行:全日制副校長)

- (1) 開会のことば
(2) 校長挨拶(校長)

- (3) 自己紹介
(4) 概要説明(各課程副校長)
・資料のとおり

(5) 質疑応答

①A評議員…共通テストへの対策をどのように進めているのか。

- ・全日制進路課長…各種講習会へ積極的に参加し、情報を収集しているが、肝心の大学から出される情報が遅れているのが現状である。基本的な学力がしっかり身に付いていれば、共通テストの記述問題には十分対応できると考えている。英語の外部試験については、地域的な面で生徒が不利にならないように、昨年度から学校でGTECを受験させている。

②B評議員…来年度から学級減となるが、今後は定員を充足できるのか。

- ・校長…中学生の数も減少するので、充足できない可能性はある。進学実績などを積極的にアピールして、内陸部に中学生が流出しないようにしたい。

③B評議員…生徒の通学方法をみると、自家用車が随分多いと感じる。以前に比べて、郊外から通っている生徒が多いからか。

- ・全日制生徒課長…その通りだと思う。

④B評議員…定時制の生徒数が減っているのは、不登校の生徒が減少しているからか。また、生徒数が減っても修学旅行は実施できるのか。

- ・定時制副校長…決して不登校の生徒が減っているわけではない。全国的に、定時制よりも通信制の方へ生徒が流れる傾向にある。公立以外の通信制高校が増えてきていることも関係している。
修学旅行は隔年で実施している。昨年度は4名参加で実施した。人数が少ないと費用が割高となる難点はあるが、次年度も実施する方向で考えている。

⑤C評議員…以前は宮古高校に入れない生徒が宮古商業へ行くという地域の常識であったが、最近は宮古高校に入れるのに他校へ行くケースもみられる。先日、市内で宮古高校音楽部の生徒と一緒に活動する機会があり、とても生き生きと活動する姿が印象的であった。学習面以外のいろいろな活動をもっとPRする機会があれば、もっと人気が出るのではないかと思う。

- ・全日制進路課長…今年度、豪華客船が宮古に寄港した際、本校書道部の生徒がボランティアで参加した。また、1学年では「総合的な探求の時間」の一環として、市内で取材し「宮古の良さを見つけよう」という取り組みを実施する予定である。このように学校外に出向く機会もこれから多くなるので、その機会を利用し積極的にアピールしていきたいと思う。

(6) 評議員から

- ・A評議員…高校の先生方が中学校に来て授業をする機会をつくってほしい。そうすれば、高校のPRにもなるのではないか。
- ・B評議員…私は本校の同窓生だが、同窓生はみな母校の活躍を願っている。生徒諸君には、勉強に部活動により一層頑張ってもらいたい。
- ・C評議員…応援できることは何でもするので、生徒も先生も思う存分頑張ってもらいたい。

(7) 閉会のことば